

平成26年6月12日開催 県政ティーミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成26年6月12日（木） 15：00～16：00
- ・会場 佐久穂町 ギャラリーくろさわ
- ・参加グループ 長野県建築士会佐久支部青年女性委員会
- ・懇談内容『住民を巻き込み、日常の地域財産に目を向けたまちづくりについて』

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

（1）景観教育について1（景観教育の必要性）

（ご意見の概要）

- ・ 青年女性委員会では「景観」というものを通じて子ども達にボランティア活動をしてもらい、地域に愛着を感じて欲しいという思いから景観授業を行っており、今後も景観授業を拡大していきたいと考えている。

（知事の発言）

- ・ 「信州学」、「郷土学」といったものを通し、長野県そして地域の良さや歴史をしっかり学ぶことで、自分達の地域に対する誇りや愛着を育てることができ、若者の定住に繋がるのではないかと考えている。

（ご意見等に対する対応状況）

- ・ 本年度は、民間建築士及び県、市町村職員を対象として多彩なまちづくりを地域で担っていただく人材を育成するための研修会を2回開催しました。
引き続き、建築関係団体の皆さまとも連携しながら本年度の取組みを継続、発展させることにより人材を育成し、官民一体で次代を担う子どもたちへの景観教育をはじめとしたまちづくり、地域づくりを進めてまいります。

【担当課：建設部都市・まちづくり課、教育委員会事務局教学指導課】

（2）景観教育について2（授業における建築士の活用）

（ご意見の概要）

- ・ 小学校3年生の授業の中に、町を歩いて地図を書いて自分の地域を知るというものがある。そういった機会に建築士を呼んでもらえれば地域についての話をすることができる。特に地元についてであれば、建物の良さや歴史についてより深く話ができる。

（知事の発言）

- ・ そういった授業に建築士の方が来てもらうのは良いと思う。教育委員会と相談してみたいと思う。子どもたちに地元の歴史をしっかり教えなければいけない。

（ご意見等に対する対応状況）

- ・ 本年度、過去に小中学生を対象に行った次代の景観育成を担う人材を育成する取組みを参考に、まちづくりの仕組みや楽しさを伝える「まちづくり出前講座」の開催を県下の各教育委員会などに働き掛け希望を募りました。

現在、希望のありました学校について講座内容を調整中であり、当面は県職員を講師としながら、希望される講座内容に応じて、地域の建築士の皆様にも協力いただくことを検討してまいります。

【担当課：建設部都市・まちづくり課、教育委員会事務局教学指導課】

(3) 移住や二地域居住に対する支援について

(ご意見の概要)

- ・ 各地域で古い空き家をピックアップして、都会の人が住みやすいように建築士が水周り等をリフォームしたモデルを作り、地域性を活かしたものを紹介してはどうか。

(知事の発言)

- ・ 地域振興課で建築士の皆さんを引き込んでやってはどうか。土地、建物を斡旋する皆さんと、改築する人たち、場合によっては金融機関も入れるなど、協力を依頼するだけでなく仕組みを作って欲しい。

(ご意見等に対する対応状況)

- ・ 空き家の利活用は、住環境の向上や良好な景観を保ち、地域の活性化をはじめ、移住促進にとっても重要な課題の一つと認識しております。

地域性を活かしつつ、工事費を抑えたリフォーム等行うことができる移住者向けのシステムについては、庁内関係課で検討し、関係する機関とも連携を図ってまいります。

二地域居住者向けの新築住宅については、現在、「長野県住まいづくり推進協議会」とも連携し、長野県の気候風土に適したコンパクトな住宅の提案を作成することとしております。

【担当課：企画振興部地域振興課、建設部建築住宅課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp